



◆自由記述欄より(一部抜粋)

- 音読は毎日必ずしていますが、本を読むことが少なくなっています。スポーツ欄、気になるところだけでも良いので、新聞を読むように声かけしています。
- あいさつができる子が多いと感じています。
- 友達関係が広がり、どの子と遊んでいるか全ては把握できていないのが心配です。
- 子どもが外に出て体を動かしたり遊んだりすることは、発育の上でも大変重要なことだと思いますが、学区内には交通量が多い大通りもあり、危険な場所があるため、親も子ども安心できません。また、近年の不審者による事件なども大きな不安要素となっており、子どもが外で思い切り遊べないのはとても残念なことだと感じています。
- 仕事をしているとPTAの行事はなかなか難しいです。

◆学校運営協議会評価委員会より 《特に課題として挙がっている太枠内のことについて話し合いました》 ◆学校評価アンケート ― 振り返りを通してより良い教育活動へ ―

- 子どもは大人の姿をよく見ているので、大人がルールを守る姿（信号を守る等）を見せることが大切である。
- 最近挨拶をしてくれる子が多くなってきたように感じる。大人から挨拶をして働きかけを継続していくことが大切である。
- 目覚めてから、脳が覚醒するまでには約2時間かかると言われている。挨拶をされても返さずに通り過ぎる子もいるが、早寝早起きの習慣が十分に身につけていないことも影響しているのではないかな。また、小学生の子どもの成長には、睡眠が非常に重要であることを学校からも子どもや保護者に発信していきたい。
- 高学年になるほど大人に近づいており、子どもたちなりに成長している。自分自身でどうしたらよいかわからないと感じている部分もあり、親としてもどのように接したらよいか分からないところもある。学校と連携して子どもに接していくことが大切である。
- 読書の習慣をつけることはよいことなので、家庭でも一定の時間テレビを消して読書の時間を設けるなどの機会をつくっていくことが大切である。
- 子どもたちの体力が二極化している。（新体力テストの結果から）しかし、運動はバランス感覚を養う上で大変重要であることから、いろいろな遊びを通して、運動を経験してほしい。
- 京都市教育委員会生涯学習部より発行されている「コミュニティ・スクール通信@京都」にも掲載されているように、子どもたちの学校生活をよりよいものにするためには、学校・家庭・地域が互いに高め合う双方向の信頼関係を構築することが何よりも大切です。そして、三者が「子どもたちのために、自分は何ができるだろうか。」という意識をもって、それぞれが教育活動に参画し、子どもを育むための取組を進めていくことが大切です。
- このように、子どもたちへの教育は、学校だけで行うものではありません。「PLAN」（教育計画）⇒「DO」（教育活動）⇒「CHECK」（点検【評価】）⇒ACTION（修正・改善）のサイクルの中で、教職員は、「教職員アンケート」を通して自己の取組について振り返っております。同様に、保護者の方にもアンケートを通して「自分はできているだろうか。」と振り返って考えていただき、今後のより良い教育活動に生かしていただく機会として、「保護者アンケート」を実施しており、これらをまとめて「学校評価アンケート」と呼んでおります。ご理解いただきますようどうぞよろしくお願い致します。

